

主要な施策の成果（「汗動・協働・創造」粋事業）

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2款 総務費				
事業名	オープンデータ活用実証事業費				
担当課	情報政策課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
8,405		8,405			

## 説明

- 総務省による「ICT街づくり推進事業」として選定された「地域公共ネットワーク基盤構築事業」で構築したICTサービスプラットフォーム「DATA for CITIZEN (以下「D4C」という。)」を地域の共通基盤とし、地域住民、民間企業、大学等学術機関と連携・協働しながら、有益なデータやサービスの創出に取り組みました。

### 【オープンデータコンテスト】

D4C上のデータを活用したアイデアやサービスを募集するとともに、D4C上に登録する形で地域のデータも募集しました。

応募部門	応募件数
アプリ・サービス部門	8件
データ部門	2件
アイデア部門	10件
活動部門	1件
合計	21件

コンテスト等を通じて地域で生まれたデータ活用の事例や有望な作品は全国的なコンテスト（アーバンデータチャレンジ）へ応募を促しました。また当該コンテストにおいて、市の取組がデータ部門金賞を受賞しました。

### 【車両走行情報の収集】

道路パトロール車及び市内循環バス、鉄道の走行情報と位置情報をD4Cに蓄積し、データ活用事例の創出を行いました。

- ・ビッグデータの蓄積
- ・ロケーションサービス等公共交通へ応用可能な機能の実装
- ・センサーデータの活用による道路パトロール日報帳票の電子化
- ・民間企業との連携により、走行情報の利用に関する標準的な仕様を策定  
→VLED（一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構）より表彰

### 【音声伝達によるオープンデータ活用】

D4C上のデータを音声（電話）で配信し、ICTリテラシーのレベルに関わらず情報を取得する仕組みの実証を行いました。

- ・イベント案内ダイヤル
- ・休日当番医案内ダイヤル
- ・国保案内ダイヤル

### 【事業全体イメージ】

D4Cを核として、誰もが自由に利用できる公共の情報資産（データ）を蓄積するとともに、地域における有用なデータ活用事例の創出を誘発します。



# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2 款 総務費				
事業名	未来人財育成事業費 (新生日本・再生故郷実行委員会負担金)				
担当課	企画調整課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
12,000		12,000			
説 明					
<p>○ 新生日本・再生故郷実行委員会では、「プラチナ構想ネットワーク」との連携のもと、エコで快適なまちづくりの推進を目指すとともに、新生日本・再生故郷をテーマに、被災地から日本全体の新たな社会構築への挑戦を目指し、地域活力の再生に向けて、次世代を担う“人財”の育成事業を中心とした取組を実施しました。</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1. グローバル人材育成事業</p> <p>郷土の偉人である野口英世博士とゆかりの諸国とのつながりを縁に、会津地方の高校生を各国大使館に派遣するなど、異文化に触れる機会を提供し、子ども達の国際社会への関心を深めることでアウトバウンド（海外留学、国際貢献など）への興味やグローバルな視点を持った思考の習熟を図りました。</p> <p>○参加者数 会津地域高校生 26名</p> <p>(1) SUMMER CAMP（国際理解・アフリカ理解を深める体験学習）参加のための事前学習</p> <p>①開催期間 平成28年6月～7月</p> <p>②主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会やアフリカについて学ぶワークショップ</li> <li>・英会話講習</li> <li>・JICA二本松訪問</li> <li>・国際交流協会20周年記念講演会への参加</li> </ul> <p>(2) SUMMER CAMP</p> <p>①開催期間 平成28年7月25日～27日（2泊3日）</p> <p>②主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ユニセフ協会、JICA地球広場の訪問</li> <li>・各国大使館（ガーナ、ケニア、モロッコ、ルワンダ）への訪問</li> <li>・各国大使との懇談</li> <li>・グローバル企業（味の素株式会社）への訪問</li> </ul> <p>2. 未来人財育成塾事業</p> <p>次世代を担う子どもたちが日本、世界をリードし活躍している講師陣と接することで、自らが未来について考え、夢を描き、目標を持って取り組む機会を提供することを目的に、プラチナ構想ネットワークと連携して人材育成事業を実施しました。</p> <p>①名 称 プラチナ未来人財育成塾@会津</p> <p>②開催期間 平成28年7月31日～8月6日（6泊7日）</p> <p>③参加人数 全国から参加した中学生 93名（うち市内19名）</p> <p>④主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本、世界をリードし活躍する講師陣による講義（12講義）</li> <li>・グループワーク（講義の振り返り・未来の自分について考えるワーク）</li> <li>・課外活動（絵ろうそく絵付け体験と点灯式、會津藩校日新館見学と徳育講座）</li> <li>・成果発表会</li> <li>・柏の葉スマートシティの見学</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2 款 総務費				
事業名	市民協働推進事業費 (行政提案型協働モデル事業委託料)				
担当課	企画調整課 協働・男女参画室				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
2,000		2,000			
説 明					
<p>○ 市民との協働による地域の課題解決と、より幅広い協働の実践につながるモデル事業を創出することを目的に、平成26年4月に策定した「会津若松市市民協働推進指針」の実践の一環として、市民公益活動団体との協働事業（4事業）に取り組みました。 いずれの事業も互いに顔が見える打合せを丁寧に行い、相互の信頼関係を構築しつつ、試行錯誤しながら取組を進め、次の実践活動につながるものとなりました。</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1. フリースペース整備による若者交流促進事業</p> <p>西若松駅と周辺地域のさらなる活性化を図るため、駅周辺のフリースペースを活用し、人的交流を促進する仕組みを検討しました。 整備場所や設備の仕様に関する課題に対して、団体や関係機関等と協議を重ね、事業の進捗状況や情報を共有しながら取り組むことができました。</p> <p>(1) 実施主体 Like会津実行委員会（担当課：地域づくり課）  (2) 事業費 500千円  (3) 対象場所 県道中沢・西若松停車場線西若松跨線橋高架下  (4) 主な内容 ■フリースペースの整備・活用  ・アスファルトの整備  ・防球ネットの設置  ・バスケットゴールの設置  ・完成イベントの開催  ・利用実績：延べ利用件数150件、延べ利用者数511名（8～10月）</p> <p>2. シニア世代の人材発掘・情報共有事業</p> <p>シニア世代等が抱く社会貢献意識を、効果的・効率的に実践活動に結びつけるための情報提供のあり方や、仕組みづくりなどについて、facebook等を活用しながら検討・実践しました。 併せて、シニア世代とNPO等の人材マッチング事業も実施し、シニア世代が地域の活動に参画できるきっかけづくりを行いました。</p> <p>(1) 実施主体 特定非営利活動法人 環境地域文化エナジー（担当課：協働・男女参画室）  (2) 事業費 500千円  (3) 主な内容 ■『シニア世代の力』を活用した事業の実施  ・facebookの活用による情報共有の仕組みなどについて検討・実践  ・人材マッチング事業の企画、チラシ作成  ■NPO、市民活動団体を支援する事業の実施  ・シニア世代とNPO等との人材マッチング事業の実施</p>					

### 3. みんなで考えよう！「街と鳥害」対策事業

近年苦情が増えているムクドリ、カラスのフン害などの対策として、これらの生態への理解を踏まえた、追払い作業を実施しました。

追払い作業は、団体と市のみならず、地域住民や電力会社、学校等とも連携しながら実践し、一定の成果を上げたことに加え、マスコミにも大きく取り上げられたことで、多くの人の興味・関心につながりました。

- (1) 実施主体 特定非営利活動法人 環境保全会議あいづ（担当課：環境生活課）
- (2) 事業費 500千円
- (3) 主な内容
  - ・鳥害対策講演会の開催
  - ・鳥害対策会議の開催
  - ・ムクドリ追払いの実践
  - ・カラス追払いの実践

### 4. ICTとコミュニティづくりによるウォーキング習慣化実証事業

ウォーキングアプリを開発し、これを活用しながら「楽しく」「便利に」ウォーキング習慣が身に付く仕組みづくりに取り組みました。

ウォーキングカフェの開催やアプリ体験等を通して、今後のウォーキング推進に向けた方向性を見出すことができました。

- (1) 実施主体 ウォーキングカフェ会津（担当課：健康増進課）
- (2) 事業費 500千円
- (3) 主な内容
  - ・ウォーキングカフェの開催
    - 歩くことに関する情報・意見交換の機会を定期的に開催
  - ・ウォーキングアプリ「あるき+（たす）」の開発
  - ・ウォーキングイベントの開催

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2 款 総務費				
事業名	北会津地域活性化事業費 (市民協働地域づくり委員会活動事業負担金)				
担当課	北会津支所まちづくり推進課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
1,000		1,000			
説 明					
<p>○ 北会津地域における市民参加・協働によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」へ負担金を交付し、住民一人ひとりが地域を理解し、身近な問題の解決に向けた取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <p>・ 地域づくり委員会会員数 42名 (平成29年3月31日現在)</p> <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の構成に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域防災研修会の開催</li> <li>意見交換会の開催 (北会津地域連携会議との合同)</li> <li>地域づくり委員会講演会・活動報告会の開催 (河東地域づくり委員会との合同)</li> <li>まちづくり推進ニュースの発行 (5回)</li> <li>独自チラシ等の配布 (7回)</li> </ul> </li> <li>・ 地域支援事業の取組に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題や問題点、解決に向けた話し合いや、実践活動の検証等 <ul style="list-style-type: none"> <li>「役員会」 (3回) 開催</li> <li>「委員会」 (11回) 開催 (内「北会津地域のようたしを考える」 (7回))</li> </ul> </li> <li>委員会発意による実践活動の実施 (2件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「みどり (花) 香るまちづくり推進事業」</li> <li>「イベントカレンダー配布事業」</li> </ul> </li> <li>地域づくり活動支援事業 (住民提案型公募事業) の実施 (4件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「ふれあいサロン真宮」</li> <li>「トップアスリートから運動の楽しさを学ぼう」</li> <li>「北会津まるごと米粉ピザづくり事業」</li> <li>「ほたるの立体紙芝居屋でございます」</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2 款 総務費				
事業名	河東地域活性化事業費 (市民協働地域づくり委員会活動事業負担金)				
担当課	河東支所まちづくり推進課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
1,000		1,000			
説 明					
<p>○ 河東地域における市民参加・協働によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」へ負担金を交付し、住民自らが行う身近な問題の解決に向けた取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくり委員会会員数 110人 (平成29年3月31日現在)</li> </ul> <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の構成に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の再編に向けた全体会 (4回) ・ 意見交換会 (3回) の開催</li> <li>地域防災研修会の開催</li> <li>意見交換会の開催 (河東地域連携会議との合同)</li> <li>地域づくり委員会講演会・活動報告会の開催 (北会津地域づくり委員会等との合同)</li> <li>地域づくり委員会ニュースの発行 (4回)</li> </ul> </li> <li>・ 地域支援事業の取組に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度からの継続した実践活動の実施 (7件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「広田駅前環境美化運動支援」</li> <li>「防犯対策活動支援」</li> <li>「地域安全鼓笛隊パレードの支援」</li> <li>「各種行事への参加協力」</li> <li>「友人・知人への参加要請」</li> <li>「地元施設 (商店等) の利用推進」</li> <li>「地域づくり委員会ニュースの発行」</li> </ul> </li> <li>平成28年度からの新たな実践活動の実施 (6件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「広田駅前案内板整備」</li> <li>「皆鶴まつりへの参加・協力」</li> <li>「地域内サロンの運営協力」</li> <li>「防災意識の醸成」</li> <li>「少子化対策事業」</li> <li>「公共交通の再編」</li> </ul> </li> <li>地域づくり活動支援事業 (住民提案型公募事業) の実施 (4件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「河東町福祉ふれあい芸能発表会」</li> <li>「広田駅前防犯カメラ設置事業」</li> <li>「花を育てて、桜河苑に届けよう」</li> <li>「JR広田駅前観光案内板改修事業」</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2款 総務費				
事業名	河東地域活性化事業費 (市民協働型地域おこし実践事業負担金)				
担当課	河東支所まちづくり推進課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
150		150			
説 明					
<p>○ 平成24年度に本市が認定を受けた「どぶろく特区」を活用し、河東地域の活性化を図るため、どぶろく特区河東地域振興協議会が中心となり、「どぶろく」を使用した加工商品の開発ならびに、地域のPR活動など、地域の活性化を図りました。</p> <p>[主な事業内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>どぶろく新規製造者研修会の開催 「どぶろく」を本市の特産品として、認知度を高めブランド化するためには、「どぶろく」製造者数を増やすことも重要であることから、「どぶろく」製造に関心のある方々を集い、「どぶろく特区」の概要説明と、現製造者から製造に係る実態報告を行う研修会を開催しました。</li> <li>どぶろく交流会の開催 新米で製造した「どぶろく」や「どぶろく」を利用した関連商品を持ち寄り、「どぶろく交流会」を開催しました。 市内観光関連団体や市グリーンツーリズムクラブ・酒販売店・農家民宿経営者をはじめ、市外の製造者にも参加していただき、「どぶろく」の飲み比べによる情報交換や交流を深め、「どぶろく」のPRとともに、品質の向上に努めました。</li> <li>商品開発事業 どぶろくの製法を活用して「甘酒」を製造し、市内スーパーを通して販売しました。</li> <li>PR事業 ・各種イベントへの参加による商品及び地域のPR活動（8件） (主な参加イベント) 「北会津ホテルまつり」 「かわひがし皆鶴まつり」 「日本橋ふくしま館 (MIDETTE) 物産展」 「会津若松市物産展inよこすかポートマーケット」 「かわひがし八日市」</li> </ol> <p>【参考】どぶろく取扱店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売：スーパーマーケット等 8店舗</li> <li>・提供：飲食店 6店舗</li> </ul>					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	4 款 衛生費				
事業名	電気自動車推進事業費				
担当課	環境生活課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
147		131			16

説 明

- スマートコミュニティ構築の一環として、スマートコミュニティ導入促進事業により、本庁舎及び北会津支所に設置した急速充電器について、災害時の非常用電源となる電気自動車を活用するための給電設備として確実に利用できるよう、また、地域の充電インフラの充実を図るため、適切な維持管理を行いました。  
さらに、市民や観光客の方々が利用できるようにすることで、電気自動車の普及促進を図り、二酸化炭素の排出削減や利用者の環境意識の向上にも寄与しました。

内 容	金 額
建物総合損害共済基金分担金	1千円
急速充電器保守業務委託料	146千円
合 計	147千円

※保守業務委託については、本庁舎の急速充電器のみが対象。

(北会津支所の急速充電器はメーカー保証の期間内)

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	6 款 農業水産業費				
事業名	農業応援総合プロデュース事業費				
担当課	農政課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
41,166	39,310			1,856	
説 明					
○ 安全農産物生産支援事業					
放射線物質吸収抑制対策の支援により、放射線物質が検出されない安全な農産物の生産を図りました。					
1. 放射線物質吸収抑制対策事業補助金					
①資材導入支援					
・内 容 放射線物質の農作物への吸収を抑制する資材の導入に要する費用の支援					
・補助対象者 J A等農業者の組織する団体（計11団体）					
・対象資材 カリ肥料（塩化カリ、硫酸カリ）					
・受益作物及び面積 水稲、大豆 計4,241ha					
②効果検証支援					
・内 容 放射線物質の吸収抑制対策を実施するほ場と実施しないほ場を設置して、それぞれのほ場で生産された作物の放射線物質の濃度を測定し、当該年度の事業効果を検証しました。					
・実施箇所数 水稲 26箇所、大豆 3箇所					
・事業実施者 会津若松地域の恵み安全対策協議会					
○ 農産物安全情報等発信事業					
農産物の安全情報を量販店等の店頭で確認できる体制を整備するとともに、農産物販売促進チラシを作成して、生産者や流通業者の販売を支援しました。					
1. 農産物安全情報パネル設置					
・設置店舗数 21店舗					
・設置回数 年2回（春・秋）					
2. 農産物販売促進チラシ					
・作成品目数 15品目（米、野菜、果樹）					
・利用方法 市ホームページ、農政課窓口等での配布					
○ 農産物等販路開拓・販売促進事業					
首都圏におけるPR活動（販売促進イベント）等により、風評の払拭を図りました。					
1. 販路開拓に係る個別相談会開催					
・市内において1回開催					
2. PR活動					
・イベント等への出展 6回					
平成28年 5月14日～15日	よこすかカレーフェスティバル	神奈川県横須賀市			
9月27日	スズキヤにおける販売促進イベント	神奈川県横須賀市等			
10月4日	大野屋における販売促進イベント	神奈川県川崎市			
10月29日～11月30日	会津みしらず柿食販売促進イベント	福島県内等			
11月26日～27日	横須賀市友好関係市フェア	神奈川県横須賀市			
12月2日～4日	北会津銘柄米部会消費地情勢調査活動及び販売促進活動	大阪府大阪市等			

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	6款 農林水産業費																				
事業名	「会津の食」ブランド化事業費																				
担当課	農政課																				
決算額	財源内訳																				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源																
17,000	5,000			12,000																	
説 明																					
<p>○ あいづ食の陣実行委員会負担金</p> <p>当該実行委員会への支援を通して、市内飲食店や宿泊施設、菓子販売業者等と連携しながら旬の地元農畜産物をメインとした商品の開発・販売を行うことにより、会津の食の魅力を外部へ発信するとともに、地元農畜産物の利用拡大とブランド化を図りました。</p> <p>① シーズンイベント</p> <p>1年間を春（4月～6月）、夏（7月～9月）、秋（10月～12月）、冬（1月～3月）の4シーズンに分け、各シーズンのテーマ食材を利用した飲食メニューやお土産品等の提供をするとともに、シーズン毎にパンフレットを作成し、参加店舗、提供メニューのPRや各シーズンの会津の魅力を紹介し、広く情報発信を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマ食材：春…アスパラガス、夏…トマト、秋…米、酒、冬…会津地鶏</li> <li>・ 参加店舗の実績</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 春・アスパラ</td> <td style="padding-left: 20px;">：</td> <td style="padding-left: 20px;">飲食店：57店、宿泊施設：6施設、販売店：14店</td> <td style="padding-left: 20px;">計77店舗</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 夏・トマト</td> <td style="padding-left: 20px;">：</td> <td style="padding-left: 20px;">飲食店：52店、宿泊施設：7施設、販売店：14店</td> <td style="padding-left: 20px;">計73店舗</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 秋・米、酒</td> <td style="padding-left: 20px;">：</td> <td style="padding-left: 20px;">飲食店：51店、宿泊施設：6施設、販売店：21店</td> <td style="padding-left: 20px;">計78店舗</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 冬・会津地鶏</td> <td style="padding-left: 20px;">：</td> <td style="padding-left: 20px;">飲食店：46店、宿泊施設：6施設、販売店：7店</td> <td style="padding-left: 20px;">計59店舗</td> </tr> </table> <p>② 広報PR活動</p> <p>地域内外でのイベント開催等によるPR活動や、参加団体が実施する食のイベントの情報を集約し、広くPR活動を実施しました。また、テーマ食材別パンフレットの作成（4回）、イベントへの出展、並びに市ホームページ、専用ホームページ、フェイスブック、市政だより、地方テレビ局の活用、地元新聞社の広告掲載等により広報活動を実施しました。</p>						* 春・アスパラ	：	飲食店：57店、宿泊施設：6施設、販売店：14店	計77店舗	* 夏・トマト	：	飲食店：52店、宿泊施設：7施設、販売店：14店	計73店舗	* 秋・米、酒	：	飲食店：51店、宿泊施設：6施設、販売店：21店	計78店舗	* 冬・会津地鶏	：	飲食店：46店、宿泊施設：6施設、販売店：7店	計59店舗
* 春・アスパラ	：	飲食店：57店、宿泊施設：6施設、販売店：14店	計77店舗																		
* 夏・トマト	：	飲食店：52店、宿泊施設：7施設、販売店：14店	計73店舗																		
* 秋・米、酒	：	飲食店：51店、宿泊施設：6施設、販売店：21店	計78店舗																		
* 冬・会津地鶏	：	飲食店：46店、宿泊施設：6施設、販売店：7店	計59店舗																		

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	6 款 農林水産業費				
事業名	農山村地域経済活性化事業費				
担当課	農政課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
10,000	0	10,000			

## 説明

### ○ 湊町原地域活性化事業補助金

旧原小学校を利活用し、集落活性化の拠点として、関係機関と連携し地域コミュニティの強化及び農産物の生産拡大・販路確保に努め地域活性化を図るための拠点整備に取り組みました。

#### 【事業の成果及び今後の取組】

##### ①旧校舎の一部解体（旧校舎東側、旧講堂と旧校舎間の渡り廊下）

老朽化が著しい箇所の一部解体を行い、強風時に屋根材が隣接住宅へ飛散する状況の改善、通行人の安全確保及び良好な景観形成を図りました。

##### ②旧講堂の改修（屋根の補修、土間コンクリート化、搬入口の確保）

屋根の老朽化により雨漏りが激しい旧講堂屋根を部分改修するとともに、床の土間コンクリート化により農産物や資材の集荷利用、作業所及び農機具の修理場を整え農業生産に取り組める環境を整えました。

##### ③旧校舎の改修（屋根葺き替え、外壁の一部補修、天井・内壁・床の改修、トイレの設置、調理場や電気ガス水道の整備、耐震化）

屋根の老朽化により雨漏りが激しい旧校舎屋根を全面改修、汚れや剥がれ落ちの目立つ箇所の外壁補修、腐食が激しい内部の改修及び耐震性強化のための耐震ボード施工、トイレの設置を行い、人が集える環境を整えました。

##### ④グラウンドの整備（表土の改良）

表土を剥ぎ、山砂を敷設することによりグラウンドの改良を行いました。

##### ⑤その他周辺

立木伐採・間伐、不要焼却炉の撤去、老朽化遊具の撤去を行い、来訪者のための安全確保と良好な景観形成を図りました。

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	中心市街地活性化事業費 (まちなか賑わいづくりプロジェクト事業負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
6,000		6,000			
説 明					
<p>○ 中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業を市民協働により継続して実施し、市民や観光客の回遊性及び滞留性の向上による交流人口の拡大を図るとともに、地域住民をはじめとした多様な主体のまちなかの賑わいづくりへの参画を促進しました。</p> <p>1. まちなか憩いの空間、緑化プロジェクト事業          中心市街地への植樹により、四季折々の変化を楽しめる新たな潤いや憩いの場を創出し、まちなか散策を促進することで、回遊及び滞留時間の拡大を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち歩き調査・ワークショップの実施              植樹計画の実施先と効果の再確認等を行うため、まち歩き調査・ワークショップを開催し、新たな植樹先の選定を行いました。</li> <li>・ 「植樹」1か所（平成26年度から継続 延べ10か所）             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 会津ふれあい通り（大和町通り内）※プランターに植樹を施した「しだれ柳」を設置</li> </ul> </li> <li>・ ライトアップ事業              これまでに植樹、案内板・誘導板、板塀等の整備を行った箇所にライトアップを施し、更なる魅力向上を図りました。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市役所本庁舎前（植樹）・葵高校第2グラウンド脇（植樹）…竹あかり</li> <li>② 稽古堂脇（板塀） …紙コップライト ③ 市役所第一庁舎脇（板塀）…紙コップライト</li> <li>④ 神明神社脇（板塀）…紙コップライト ⑤ 七日町市民広場（植樹） …LEDイルミネーション</li> </ul> </li> </ul> <p>2. まちなかスペース活用事業          まちなか景観づくり事業（通りの板塀化等）を実施した通りや広場等を活用し、多様な人々が参加できる「まちてく市（いち）」を開催し、賑わいの創出を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日 平成28年10月23日（日）（※同時開催 ものづくりフェア）</li> <li>・ 場 所 生涯学習総合センター近隣エリア（興徳寺境内とその周辺）</li> <li>・ 来場者 612名</li> <li>・ 内 容 物販、飲食ブース、ハンギングバスケット&amp;コンテナガーデンコンテスト              まちなか憩いの音楽会、体験ブース</li> </ul> <p>3. アンケート調査の実施          まちなかの魅力向上や賑わいづくりに対する事業実施の効果について、アンケート調査を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① まちなか憩いの空間、緑化プロジェクト事業について             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者 地域住民 ・回答者数 205名</li> <li>・ 結 果 事業について「知っている」という回答者のうち、約8割が「魅力づくりに効果があつた」と回答</li> </ul> </li> <li>② まちなかスペース活用事業（まちてく市）について             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者 来場者 ・回答者数 102名</li> <li>・ 結 果 回答者の約7割が「よかった」と回答</li> </ul> </li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	地場産業振興事業費 (会津清酒消費拡大推進協議会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
4,500		4,500			
説 明					
<p>○【地域外事業】首都圏をメインターゲットとした「会津清酒」のファンづくりや、日本酒のニーズ調査を行いました。</p> <p>1. 会津清酒ブランディング事業          首都圏の30～40代の女性をターゲットとした会津清酒イベントを開催          期間：平成28年10月～12月 場所：首都圏の飲食店          回数：3回 人数：136人</p> <p>2. テストマーケティング事業          会津清酒の新たな飲み方の提案を行うとともに、アンケート調査を実施          期間：平成28年8月11日～31日 場所：神奈川県藤沢市片瀬海岸          アンケート人数：100人</p> <p>3. AIZUKI会津訪問事業          あいづきメンバー自らが会津旅の計画を立て、旅の様子をSNSで発信          期間：平成28年7月～平成29年2月 場所：会津地方の各所 参加人数：7名</p> <p>○【地域内事業】地域住民などが会津清酒に親んでもらえるイベントの実施や講習会の開催等、会津清酒をテーマとしたおもてなしの舞台づくりを行いました。</p> <p>(テーマ1) おいしいお酒がある          あいづきHPの作成やSNSによる情報発信を実施          期間：平成28年4月～平成29年3月 訪問場所：酒造組合の酒蔵や漆器工房、観光施設等</p> <p>(テーマ2) お酒の楽しみ方がある</p> <p>○会津の品格セットの推進          イベントでの展示・販売等によるPR</p> <p>○会津清酒文化創造推進事業          成人式における会津清酒のPR          対象：平成28年8月15日(土) 河東地区70名、北会津地区120名          平成29年1月8日(日) 会津若松市1,200名 合計約1,390名</p> <p>○「会津清酒で乾杯」の開催          10月1日の「日本酒の日」に合わせてイベントを開催          日時：平成28年10月1日(土) 場所：市役所本庁舎前駐車場 人数：約400名</p> <p>○会津清酒屋台村の開催 ※全会津の蔵元に呼びかけて開催          日時：平成28年4月23日(土) 場所：鶴ヶ城二の丸 人数：約300名          日時：平成28年8月26日(金) ※酒造組合の蔵元で開催          場所：野口英世青春広場 人数：約200名</p> <p>(テーマ3) お酒のことを知っている</p> <p>○会津清酒おもてなし講座、頑固一献講座の開催          期間：平成28年4月～平成29年3月 回数：15回</p> <p>○会津清酒で乾杯推進事業          内容：会津清酒で乾杯を推進するためのTシャツやパネル作成を実施          配布先：市内飲食店や旅館など</p>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	地場産業振興事業費 (会津漆器販路拡大事業実行委員会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
3,428				3,428	
説 明					
<p>○ 消費者を対象とした国内最大級の展示会であるテーブルウェア・フェスティバル及び国内外のバイヤーを対象にしたインテリアライフスタイルに出展することにより、新しい会津漆器の魅力づくりと発信を行い、会津漆器の振興を図りました。</p> <p>[主な事業実績]</p> <p>【テーブルウェア・フェスティバルにかかる取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会（全4回） 内容：会津漆器の魅力と課題、個性を生かしたものづくりのための商社の役割など 参加者：延べ56名</li> <li>・商品開発指導会（全4回） 参加者：延べ33社</li> <li>・テーブルウェア・フェスティバルへの出展 開催期間：平成29年1月29日～2月6日（9日間） 開催場所：東京ドーム 参加企業：9社</li> <li>・フィードバックセミナーの実施（1回） 内容：魅力ある商品やトレンドを生かしたものづくりについて、方向性を協議しました。 参加者：9社</li> </ul> <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルウェア・フェスティバル売上実績：約270万円</li> <li>・累計約28万人の来場者数へ会津漆器を効果的にPRできたことで、リピーターが増え、出展後においても問い合わせが多数あるなど、着実な会津塗のファン増加に寄与しました。</li> </ul> <p>【インテリアライフスタイルにかかる取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会（全3回） 内容：企業戦略の立て方や個別ブランドの意義など 参加者：延べ16社</li> <li>・商品開発指導会（全3回） 参加者：延べ18社</li> <li>・インテリアライフスタイルへの出展 開催期間：平成28年6月1日～3日（3日間） 開催場所：東京ビッグサイト 参加企業：6社</li> <li>・フィードバックセミナーの実施（1回） 内容：ブランド化や商品ラインナップに関するプロモーションについて改善点を整理し、指針を設定しました。 参加者：6社</li> </ul> <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアライフスタイルでの商談実績：194件（商談成立21件）</li> <li>・出展を契機に、服飾関係など今まで取引実績のない業種や企業との商談が成立し、既存商品の取引に止まらず、新たに商品開発に取り組む事例も生まれました。</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	漆香るプロジェクト推進事業費 (漆香るプロジェクト実行委員会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
6,945		6,945			
説 明					
<p>○ ANAグループと連携し、会津塗の商品開発とブランド力向上を図るための各種事業及び海外からの観光誘客に向けた各種事業を展開し、国内外に向けた漆器及び会津地域の魅力発信とプロモーションに取り組みました。</p> <p>[主な事業実績]</p> <p>【地場産業振興事業】</p> <p>①商品開発等に向けた勉強会・研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会・研究会の実施 開催期間：平成28年5月～平成29年3月 開催内容：「免税店利用客の消費動向」「VIPラウンジのサービスのあり方」など（全4回）</li> <li>・シンポジウムの開催 開催内容：「会津の塗を、いま世界へ」をテーマとした基調講演・パネルディスカッションを行い、漆器業界の意識醸成及び市民の漆への興味関心の向上を図りました。 参加者：89名</li> </ul> <p>②マーケティング調査・国内プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「会津の匠の技展」の開催 開催場所：羽田空港国際線ターミナル 開催内容：会津塗や会津清酒、民芸品等の地場産品の実演、販売、展示を行い、空港利用客に対して会津塗を広くPRを行いました。</li> <li>・企業内マルシェの実施 開催場所：羽田空港国内線ビル（ANAグループ社内） 開催内容：会津塗の実演、体験、展示等を行い、ANAグループ社員に向けた会津塗のPRを実施することで、理解促進を図りました。</li> </ul> <p>③海外プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外マーケットでのプロモーション販売の実施 実施期間：平成28年11月25日～12月30日 実施場所：フランス コルマル市 実施内容：会津塗の販売や市場調査等を行い、消費動向調査を実施しました。</li> <li>・外国人バイヤーとの商談会の実施 参加企業：市内の漆器企業5社</li> </ul>					

## 【観光振興事業】

### ①外国人向けの観光周遊ルートの構築

実施期間：平成28年5月～平成29年3月

実施内容：温泉地を核に、地域の食や文化を歩いて楽しむ外国人向けの周遊ルートを開発し、外国人研修生と一緒に実際に歩くことで、周遊ルートの検討と検証を行いました。

### ②海外への情報発信

- ・フランス人研修生の受け入れ及び情報発信

受入期間：平成28年9月30日～11月17日

研修内容：ANAと提携しているフランス研究所の研修生を受入れ、会津の観光・地場産業を体験してもらい、フェイスブックを通じて外国語による情報発信を行いました。

### ③「おもてなし意識」の向上

- ・市民や観光関係者を対象とした接遇講座の実施

開催回数：2回

講師：客室乗務員兼ANA総合研究所研究員

開催内容：会津流のおもてなしを実践するため、観光関係者及び市民の意識向上を図りました。

参加者：観光関係者34名

## [事業成果]

- ・ANA空港内のVIPラウンジに漆器等が3品目採用され、新たな取引に繋がりました。
  - ・外国人バイヤーとの商談が成立し、4社20品目が新たな取引に繋がりました。
  - ・ANAグループのネットワークにより、地名度や人気度の高い(株)コムサと提携し、会津漆器と会津産果樹スイーツ、会津米メニューを提供し、会津の地域資源を広くPRすることができました。
  - ・ANA機内誌へ市内の観光情報が掲載され、広く情報発信できました。
- ※ANA月間搭乗者 国内線約330万人/国際線約60万人 閲覧率約94%

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	桜咲く会津プロジェクト推進事業費 (桜咲く会津プロジェクト実行委員会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
10,608		10,608			
説 明					
○ イオン株式会社との地域貢献協定を活かし、会津地域の農産食品を継続的に全国に流通させていくための各種事業を展開し、販路開拓に努めました。					
[主な事業実績]					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国のイオングループ6店舗において会津フェスタを開催              実施期間：平成28年6月～平成28年11月              開催内容：トップセールス、催事、郷土芸能披露、観光PR、地域産品の試食PRなど（全6回）              開催地域：関東5店舗、関西1店舗</li>   <li>・ 商談会の実施              開催回数：20回              開催場所：市内、東京都、千葉県              開催内容：会津地域内企業とイオングループバイヤーとの商談会              参加企業：会津地域内企業延べ148社</li>   <li>・ 研究会の開催              開催回数：12回              開催場所：市内              開催内容：「生産量の確保及び流通網の整備」「輸出に関するノウハウ不足」といった課題を解決するため、地域内での生産活動を行う農畜産業者、食品加工業者などを対象に研究会を実施しました。</li>   <li>・ 人材育成セミナーの実施              開催回数：3回              開催場所：市内              開催内容：イオンの商品開発、食品の表示など              参加者：会津地域内企業延べ56名</li>   <li>・ 輸出トライアル事業（会津フェスタin香港）              実施期間：平成29年2月3日～7日              実施場所：イオンストアーズ香港コーンヒル店              実施内容：会津産品の販売や市場調査等を行い、輸出の可能性について調査を行いました。</li> </ul>					
[事業成果]					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会津フェスタ開催におけるPR者数：約100万人</li> <li>・ 販路拡大：取引企業件数 延べ23社（食品加工業、酒造業など）</li> <li>・ みしらず柿が「フードアルチザン（食の匠）」活動に採用され、新たな取引に繋がりました。</li> <li>・ 甘酒や会津清酒、漬物などの加工食品が、全国販売規模の取引契約を結ぶなど、販路拡大に寄与することができました。</li> <li>・ イオングループとのオリジナル商品の開発により、付加価値の高い商品づくりに寄与しました。</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	産学官連携推進事業費 (会津 I T 産業振興協議会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
1,400		1,400			
説 明					
<p>○ 創業や新事業創出、I T人材の育成・確保、技術力・商品力の強化、情報発信・販路開拓にかかる支援等を行うことで、会津大学や市内ベンチャー企業をはじめとする I T 産業の持続的な発展と振興を図りました。</p> <p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員数 18社 (企業会員13社、支援機関5機関)</li> <li>・ 創業支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>日 時 : 平成28年10月9日(日)～15日(土)</li> <li>場 所 : アメリカ合衆国 カリフォルニア州 シリコンバレー地域</li> <li>参加数 : 3名</li> <li>内 容 : I T 企業の世界的な集積地であるシリコンバレーへのインターンシップを実施、プレゼンイベントへの参加や企業等への訪問等により起業意識の向上や新事業の実現のためのネットワーク構築。</li> </ul> </li> <li>・ I T 人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>日 時 : 平成29年1月21日(土)</li> <li>場 所 : ルネッサンス中の島</li> <li>参加数 : 12名</li> <li>内 容 : 地方における I T 集積・スタートアップ創出をテーマに、首都圏や徳島県のスタートアップに係る講演と市 I C T オフィス環境整備事業についての説明、意見交換。</li> </ul> </li> <li>・ 技術力・商品力の強化事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケア I O T ハッカソンの開催(共催)</li> <li>日 時 : 平成28年12月17日(土)～18日(日)</li> <li>場 所 : 市長公舎サテライトオフィス</li> <li>参加数 : 約30名(学生を含む)</li> <li>内 容 : ヘルスケアに関するデバイス、データを用いた開発イベントを開催。</li> </ul> </li> <li>・ 販路拡大事業(ビジネスマッチング) <ul style="list-style-type: none"> <li>販路拡大に向けた調査・コンサルティング</li> <li>時 期 : 平成28年7月</li> <li>参加者 : 3社</li> <li>内 容 : 首都圏で活躍するコンサルタントを招聘し、開発及び販路確保等今後に向けたコンサルティングを実施。</li> </ul> </li> </ul> <p>[事業効果]</p> <p>各種研修事業や講演会等により起業や新事業の実現に向けた機運が高まりました。また、販路拡大事業の成果に加えて、事業全体を通じて会員相互間の連携や情報共有が進められたことで、新たなビジネスマッチングやネットワーキングが生み出され、I T 産業振興・活性化が図られました。</p>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	医工連携推進事業費 (医療トレーニング機器開発推進事業委託料)				
担当課	企業立地課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
1,372		1,372			
説 明					
<p>○ 医療機関や産業支援団体等を構成員とするコンソーシアム会議を組織するとともに、医療機器展示会に出展し、医療従事者等からの意見を聴取する機会を創出することで、市内企業による医療トレーニング機器の開発を支援しました。</p> <p>また、広く市内企業を対象とするセミナーを開催し、市内企業の医療機器関連産業への新規参入促進を図りました。</p> <p>この結果、アドバイザー等からの助言を受けて、市内企業3社が製作を進めてきた心臓冠動脈カテーテル治療トレーニング用手首モデルの試作品について、更なる改良につなげることができました。</p>					
<p>[委託先] 一般財団法人 ふくしま医療機器産業推進機構</p>					
<p>[コンソーシアム会議構成企業・団体] 市内企業（北日本金型工業(株)、(株)サンブライト、西田精機(株)）、会津若松市、会津若松商工会議所、福島県立医科大学会津医療センター、福島県医療機器販売業協会、福島県発明協会、会津産業ネットワークフォーラム、ふくしま医療機器産業推進機構</p>					
<p>1. 市内企業による医療トレーニング機器試作品開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内 容 コンソーシアム会議開催による開発支援（2回）、参画企業等による開発会議（6回）</li> <li>・結 果 試作品の改良（小型化等）によるコストダウン</li> </ul>					
<p>2. 医療機器関連展示会への出展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会 第91回日本医療機器学会大会併設機器展示会「メディカルショージャパン&amp;ビジネスエキスポ2016」</li> <li>・会 期 平成28年6月23日（木）～25日（土）</li> <li>・会 場 大阪国際会議場（大阪府大阪市）</li> <li>・主催者 日本医療機器学会</li> <li>・内 容 上記学会の参加者（医師、看護師、医学生、臨床工学技士、商社等）に試作品を直に触れてもらったうえで、その意見を直接聴取</li> </ul>					
<p>3. 医療トレーニング機器関連セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成29年3月24日（金）</li> <li>・場 所 会津若松市生涯学習総合センター 會津稽古堂</li> <li>・内 容 医用画像データからの3Dモデル構築に係るワークショップ</li> <li>・講 師 大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学 特任研究員 中尾 良二 氏</li> <li>・参加者 市内企業等15名</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費			
事業名		頑張るものづくり企業支援事業費 (頑張るものづくり企業支援事業実行委員会負担金)			
担当課		企業立地課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
600		600			
説 明					
<p>○ 周辺自治体、民間団体が一体となった実行委員会を組織して事業を行い、会津地域におけるものづくり企業の販路拡大やビジネスマッチングの機会創出に効果がありました。</p> <p>[構成団体]          ・自治体 会津若松市、喜多方市、会津坂下町、湯川村、会津美里町          ・民間団体 会津若松商工会議所、会津産業ネットワークフォーラム</p> <p>[事業内容]          会津地域ものづくり企業による首都圏展示会への共同出展を支援し、出展企業の製品や技術のPRを行うことで、販路拡大の機会を創出しました。          また、本市にて、ものづくり企業を対象とする商談会を開催し、会津地域のものづくり企業におけるビジネスマッチングの機会を創出しました。</p> <p>1. 首都圏展示会共同出展支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会 第20回機械要素技術展</li> <li>・会 期 平成28年6月22日(水)～24日(金)</li> <li>・会 場 東京ビッグサイト(東京都江東区)</li> <li>・主催者 リードエグジビションジャパン株式会社</li> <li>・来場者数等(主催者発表) 来場者数 87,285人(会期全体) 出展企業数 2,318社</li> <li>・共同出展企業 6社(うち市内企業4社)</li> <li>・商談件数等 名刺交換件数 437件 見積依頼件数 18件 取引開始件数 3件 取引開始金額 約1,400万円</li> </ul> <p>2. 会津地域ものづくり企業商談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成28年11月15日(水)</li> <li>・会 場 会津若松ワシントンホテル</li> <li>・参加企業数 発注企業 19社(うち市内企業0社) 受注企業 36社(うち市内企業5社)</li> <li>・商談件数等 商談件数 139件 商談成立件数 2件 商談成立金額 約20万円 商談継続件数 13件 商談継続金額 約4,850万円</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	観光誘客メディア戦略事業費 (会津若松フィルムコミッション特別負担金)				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
2,967		2,967			
説 明					
<p>○ メディア媒体を通じて本市の観光資源や撮影ロケ地の情報発信について相乗効果を図るため、平成27年度より会津若松フィルムコミッションへ特別負担金を交付し、フィルムコミッション事業と観光誘客メディア戦略（会津侍 若松つつん）事業の連携を行いました。 また、「会津侍 若松つつん」をメディア媒体以外の場面でも活用し、認知度向上に努めました。</p> <p>1. FCと連携してのPR活動</p> <p>①「会津侍 若松つつん」専用ホームページ、フェイスブック等を活用し、市内撮影の番組放送の紹介や市内観光情報の発信を行いました。</p> <p>②ふるさと甲子園へ参加し、ロケ地・物産品をPRしました。（168千円） ※ふるさと甲子園 「ロケ地」を観光資源として活用するため、地方自治体や地域活性化を推進する団体、マスメディア等が連携し、ロケ地として使用された景観や建物等を中心に観光PRを行うとともに、各地の「ご当地グルメ」を紹介することにより、観光交流人口、および移住者の増加を促し、地域活性化を図るイベント。</p> <p>2. 情報発信・知名度向上へ向けた取り組み</p> <p>①会津侍 若松つつん専用ホームページの運営（276千円） ・平成27年9月開設、28年度アクセス数26,592件</p> <p>②若松つつんピンバッジをノベルティとして作成し、イベント等で配布（1,018千円） ・市内小学生への配布（市内小学6年生 1,137名） ・各種イベント等での配布</p> <p>③イベントへ直接参加し、SNSを活用したPRの実施 ・東武ファンフェスタ、鶴ヶ城大茶会、鶴ヶ城ハーフマラソン、会津ブランドものづくりフェア、絵ろうそくまつり、十日市等の投稿を行いました。</p> <p>④イベントプロモーション活動（918千円） ・リアル若松つつんと咲子さんを招聘し、会津まつり提灯行列、会津磐梯山踊り、會津十楽へ参加し、タイムリーに動画や写真をSNSで発信しました。 ・アイツテラスの開会式に、福島県住みます芸人「ぺんぎんナッツ」を招聘し会場の盛り上げとSNS発信での発信を行いました。</p> <p>⑤「若松つつんへ年賀状を送ろう！」イベントの実施（19千円） ・年賀状を募集し、若松つつんからの返事と抽選によりプレゼントを贈呈しました。 (応募件数193件)</p>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	鶴ヶ城さくらまつり大茶会事業費 (会津まつり協会特別負担金)				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
2,020		2,020			
説 明					
<p>○ 鶴ヶ城さくらまつりにおける集客イベントとして、鶴ヶ城を訪れる観光客や市民に呈茶など春のおもてなしを行うことにより、会津の茶道文化を発信し、地域文化の振興と観光誘客を図りました。</p> <p>[事業内容] 鶴ヶ城本丸内において、茶道6流派がそれぞれ300席を提供して呈茶を供するとともに、復元した会津殿上菓子を一部提供するなど、茶の湯文化だけでなく、その伝統に基づく菓子文化や着物文化等も合わせて発信することで、イベントの魅力向上に努めました。</p> <p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間：平成28年4月24日（土）～25日（日）</li> <li>・ 開催場所：鶴ヶ城及び御薬園</li> <li>・ 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 茶道6流派による呈茶 1,834人</li> <li>○ 親子茶道体験 482人</li> <li>○ 着物着付け体験 12人</li> <li>○ 子ども茶道歴史講座 47人</li> <li>○ 茶器の展示 313人</li> </ul> </li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	観光振興事業費 (会津十楽 in サムライシティーあいつ開催事業負担金)				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
4,200		4,200			
説 明					
<p>○ 本市の「サムライシティー」による観光振興を図るため、サムライシティプロジェクト実行委員会へ負担金を交付し、新たな切り口による歴史観光を推進しました。春の陣、秋の陣を主催するほか、地域のイベント等にも出店し、サムライシティー「會津」をPRしました。</p> <p>[事業内容] 蒲生氏郷公が物産販売と文化的技量の発表の場として実施していた「十楽」を現代風アレンジし、歴史的な背景を含めた新たな観光資源を創出することで、県内外からの観光誘客を図りました。</p> <p>[実施事業] 鶴ヶ城公園やその周辺を会場に、サムライシティーとしての演出を施した会津の物産販売を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会津十楽春の陣 平成28年4月16日～30日までの土日祝日、5月1日～5日 11日間開催 来場者数：約67,000人 会場：鶴ヶ城本丸北側</li> <li>・会津十楽夏の陣 平成28年8月13日～16日 来場者数：約6,900人 会場：東山温泉</li> <li>・会津十楽秋の陣 平成28年9月17日～19日 23日～25日 来場者数：約34,000人 会場：鶴ヶ城本丸北側</li> <li>・会津十楽冬の陣 平成29年2月10日～12日 来場者数：約10,700人 会場：鶴ヶ城帯廓</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費												
事業名	観光物産復興特別事業費 (会津若松観光ビューロー特別補助金)												
担当課	観光課												
決算額	財源内訳												
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源								
15,157				15,157									
説 明													
○ 原子力発電所事故による風評の払拭や、冬期の誘客対策、広域観光など、会津若松観光ビューローが重点的に実施する事業に対し、補助を行いました。													
1. 教育旅行推進事業													
県外の小中学校や旅行会社への訪問活動を通して、本市の魅力や安全性などの情報発信を行い、教育旅行の回復に努めました。													
・ 学校・旅行エージェント訪問 628件													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> <td>対前年比</td> </tr> <tr> <td>県外来訪校数</td> <td>588校</td> <td>566校</td> <td>104%</td> </tr> </table>							平成28年度	平成27年度	対前年比	県外来訪校数	588校	566校	104%
	平成28年度	平成27年度	対前年比										
県外来訪校数	588校	566校	104%										
2. インバウンド推進事業													
多言語パンフレットなどの外国人向けPRツールの作成や各種プロモーションや商談会への参加、市内関係者向けの研修会の開催などにより、インバウンド誘致と受入体制の向上に努めました。													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人ボランティアガイド（英語・中国語）の運用（28年度利用者316名）</li> <li>・ ホームページ、パンフレットや市内観光マップなど、多言語の誘客ツール作成とPR</li> <li>・ 市内のインバウンドの受入体制の向上のための講習会の開催 インバウンド受入「食」の講習会 4回開催 ボランティアガイド向け「英会話」講習会 4回開催</li> <li>・ 海外旅行会社向けの商談会等への参加とPR</li> </ul>													
3. コンベンション推進事業													
市内の宿泊施設や会議施設、観光資源等の情報発信や開催支援制度の整備等により、コンベンション誘致に努めました。													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンベンション開催支援制度の整備</li> <li>・ 誘致用コンベンションバッグ、パンフレットの作成</li> <li>・ コンベンション主催者とのマッチングイベントや商談会への参加</li> </ul>													
4. エージェント助成金事業													
冬期における誘客促進のため、エージェントに対し送客実績に応じた助成を行い、誘客増を図りました。													
助成件数 42件      送客実数 8,072人													
5. 物産プロモーション事業													
首都圏の駅などを活用した物産展を行い、物産振興に努めました。													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR大宮駅での観光物産展（12月）22社出店</li> <li>・ JR浦和駅での観光物産展（3月）24社出店</li> </ul>													

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	温泉地域活性化推進事業補助金 (震災復興特別分)				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
10,000				10,000	

説 明

- 東山・芦ノ牧両温泉地域の活性化及び観光振興を促進するため、震災復興特別分として、震災復興のための事業に対する補助金を交付しました。

補助団体	東山温泉観光協会	芦ノ牧温泉観光協会
震災復興特別分	<b>【誘客宣伝事業】</b> ・ インバウンド対策として、温泉街パンフレット及びホームページ（英語・中国語）のアップロードを行いました。また、タブレットを利用した多言語化アプリを導入しました。  <b>【活性化推進事業】</b> ・ 温泉街の無線LAN環境の拡充や足湯の修繕など環境整備を行いました。また、絵ろうそくまつり会場への直通バス利用客拡大に取り組みました。	<b>【誘客宣伝事業】</b> ・ 大手旅行エージェント「楽天」（紙媒体・携帯アプリ等）と連携した利用客の拡大に取り組みました。  ・ インバウンド対策として、ホームページの多言語化（英語・中国語）を行いました。  ・ 温泉街の雰囲気作りのため、入り口付近に設置するための行燈を購入しました。
	<b>【東山温泉・芦ノ牧温泉共同事業】</b> ・ 両温泉と会津若松のネームバリューを活かし、都内で開催されることの多い旅行エージェントとの商談会を現地で開催しました。  ・ 冬季誘客に向け、郡山市でキャラバンを行い、観光PRに努めました。 ・ 広告展開事業として、旅行ブロガーとの連携や、英語圏の外国人向けにアピールできるシステムを持ったエージェントとの契約を行い、国内外に向けて誘客のための体制作りを行いました。	
	補助額5,000千円	補助額5,000千円

<温泉入込み>

(単位：人)

	28年	27年	増減
東山温泉	532,941	473,819	59,122
芦ノ牧温泉	229,462	233,267	△ 3,805
計	762,403	707,086	55,317

※各年 1月～12月

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		10款 教育費			
事業名		あいづっこ人材育成プロジェクト事業費			
担当課		学校教育課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
16,704		16,704			
説 明					
<p>○ 会津の優れた先人に憧れ、学び、故郷会津に誇りを持つ人材の育成を目指し、放課後等に個別指導を行う「基礎力アップ大作戦」や、中学生をゆかりの地に派遣する「会津ジュニア大使」などの様々な事業を実施し、子どもたちの可能性を一層引き出す学びの場や、心に残る感動の場を提供しました。</p> <p>[主な事業内容と効果]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>先輩アスリートから学ぶ～トップランナーへの道～              実施日：平成28年6月29日 のべ参加人数：130名              ・陸上競技場を会場に一流講師を招き、技術向上を図りました。子どもたちにトップクラスのアスリートの走りを実際に見せることで、競技に対する意欲を持たせることができました。</li> <li>グローバルな人間を目指して～ブリティッシュヒルズへGO～              実施日：平成28年8月9日～10日 参加人数：59名              ・ブリティッシュヒルズで1泊2日の研修を行い、小学6年生を英語だけの環境に置くことで、英語を使うことに抵抗がなくなり、楽しんで英語を使えるようになりました。</li> <li>映画から学ぶ～感動をつくる仕事～              実施日：平成28年5月～11月 参加人数：1,859名              ・映画原作者、出演俳優の講演、映画上映、ワークショップを通して、中学生に本物の映像文化に触れ、感性を高める機会を提供するとともに、共同作業のすばらしさや生き方を学ぶ機会を提供することができました。</li> <li>基礎力アップ大作戦              実施期間：通年 のべ参加人数：6,957名              ・夏休みや放課後等の時間に、退職教職員や大学生等のサポートティーチャーによる個別指導を行い、きめ細やかな個に応じた指導をすることで、生徒たちの基礎力アップを図りました。</li> <li>「はてな・ふしぎ」わくわく理数教室              実施日：平成28年10月～11月 参加人数：1,562名              ・著名な天文学者や最先端技術を有する企業の講師を迎え、理科の不思議さや天文学の楽しさを体験することにより、理科への興味や関心を高揚させるきっかけづくりができました。</li> <li>こころのふるさと会津～郷土を学ぶ～              実施期間：平成28年5月～平成29年3月 参加人数：1,670名              ・郷土の歴史研究者等を各小中学校に招き、会津の歴史を学ぶことで、身近な会津の歴史をより詳しく理解し、ふるさと会津に誇りを持たせることができました。              また、市内の史跡を実際に目で見て体験する事業として、小学6年生全員を対象に、「会津若松市歴史資料センター（まなべこ）」を拠点とし院内御廟などの史跡を巡る「まなべこツアー」を実施しました。</li> <li>会津ジュニア大使～会津の元気を全国に発信～              実施日：平成28年8月1日～3日 参加人数：33名              ・中学生をゆかりの地（北海道余市町）に派遣し、地元中学生との交流やグループでの発表を通して、全国に向けて会津の元気を発信することができました。また、この活動を通して中学生が改めて、ふるさと会津の良さと歴史の深さを認識することができました。</li> </ol>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	10款 教育費				
事業名	子どものことばの力・まなびの力育成事業費				
担当課	生涯学習総合センター				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
4,913		4,913			
説 明					
<p>○ 「ことばの力」を使って子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育み、優れた人材を育成するための読書活動事業に、ボランティアとの協働及び大熊町との連携のもと取り組みました。</p> <p><b>【主な事業内容と成果】</b></p> <p>1. 第3回会津図書館を使った調べる学習コンクールの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募作品数：56作品、参加小学校数：13校</li> <li>・ 表彰式及び作品展示会：平成28年11月26日（土）</li> </ul> <p>本コンクールを推進するため、小学校教諭や興味のある保護者向けに研修会を実施しました。また、公民館事業と連携して講座を開設するとともに、湊小学校への学校訪問と出前講座を実施しました。</p> <p>市内の小学生を対象とし、図書館の本や情報を活用して調べた成果をまとめた作品を募集し、当コンクールにおいて16作品を表彰しました。入賞作品の中から全国コンクールへ推薦した2作品は、前年度よりも上位の優良賞と奨励賞に入賞しました。</p> <p>また、大熊町の小学校と連携し、研修会や入賞作品の合同展示会を開催し、広く事業展開を図りました。回を重ねるごとに、応募作品数の増や内容の充実が図られ、子どもたちの調べる力の向上とともに、本を読み、深く考え、言葉を選び、自分の考えをまとめる能力の向上が図られました。</p> <p>2. 第3回会津ビブリアバトル（知的書評合戦）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施日：平成28年12月23日（金・祝）</li> </ul> <p>市内在学の中高生を対象に、本の魅力や感じた思いを発表することで、論理的思考力・表現力・プレゼンテーション能力の向上が図られました。発表者は、予戦では楽しく和気藹々と、決戦では一般公開のため、緊張の面持ちながらも工夫を凝らして発表しており、本を通じた人との交流や新たな読書活動が推進されました。</p> <p>また、図書館内においてバトル本を展示し、来館者から好評を得て貸出に繋がりました。</p> <p>3. 読み聞かせの推進</p> <p>ボランティアとの協働により、子育てにおける絵本の読み聞かせの大切さについて実践を交えながら伝え、読み聞かせが親子のコミュニケーションツールのひとつであることの啓発を図りました。8月からは、健康福祉部と連携しながら、4か月児健診会場において、「ブックスタート事業」を開始し、絵本の読み聞かせとともに絵本の手渡しを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブックスタート事業における読み聞かせ 実施回数：35回 参加者数：親子数874組</li> <li>・ 赤ちゃんおはなし会 実施回数：23回 参加者数：のべ親子数171組</li> </ul> <p>4. 児童書・ティーンズ図書の充実</p> <p>子どもたちの読書活動を支援するとともに、学校における調べる学習支援のための「学校支援図書セット」の整備を行い、凜としたあいづっこの育成のため、児童書及びティーンズ図書の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 購入冊数：児童書1,441冊、ティーンズ図書1,019冊</li> </ul>					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	10款 教育費				
事業名	ひがし地域交流館活動事業費				
担当課	東公民館				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
262		262			
説 明					
<p>○ 地域交流館～ひがしカフェ～</p> <p>〔目的〕          地域課題として挙げられていた高齢者や団塊の世代（特に男性）の外出促進のため、だれでも気軽に集まれる拠点づくりの一環として、東公民館の日本間を月2回定期的に開放し、交流の場を提供しました。また、共に楽しめるミニコンサートや落語会、健康維持のための軽体操、なりすまし詐欺防止の講話など、高齢者にとって身近な課題についての情報提供に努めたことで、多くの参加者を得ることができました。</p> <p>〔実績〕          平成28年度開催回数 24回          延べ参加者数 854名（1回あたり 約36名）          最終開催時登録者数 128名</p>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		10款 教育費			
事業名		復興シンボル・スポーツイベント支援事業費 (鶴ヶ城ハーフマラソン大会実行委員会特別負担金)			
担当課		スポーツ推進課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
7,500		7,500			
説 明					
<p>○ マラソンを通して、参加者相互の親睦を深めながら、体力の維持・向上及び健康増進を図るとともに、会津の復興を内外に示すためのシンボリックな事業と位置づけ、観光誘客と地域振興に資することを目的として開催しました。</p> <p>第28回大会は、過去最高の6,984名の参加があり、復興に向けての本市のイメージの向上とともに、スポーツ及び地域振興を図ることができました。</p> <p>実施大会名：鶴ヶ城ハーフマラソン大会            参加者数：6,984人（前回大会：6,106名）            【参加状況】 県外1,250人（前回1,164人）、県内5,734人（前回4,942人）、うち市内3,347人（前回2,890人）</p> <p>主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京マラソンと提携し、20名のランナーを推薦しました。</li> <li>ハーフの部は日本陸上競技連盟公認大会として開催しました。</li> <li>大会当日に向けたランニング講習会を開催しました。 9回 計237名（成人向けに6回（167名）、子ども向けに3回（70名）開催）</li> <li>参加者向けの宿泊パック・高速バスチケット付き宿泊パックを設けました。 利用状況：市内旅館ホテル宿泊パック248名（前回215名） 東山・芦ノ牧温泉宿泊パック 東山6室16名、芦ノ牧58名 高速バス宿泊パック30名（前回33名）</li> <li>前日レセプションを開催し、会津ならではのおもてなしで参加者を歓迎しました。 会津若松ワシントンホテルにて開催 86名参加 県外38名（44%）、県内（市外）29名（34%）、市内19名（22%）</li> <li>あいづ食の陣と連携した取組を実施しました。 昨年に引き続き、第6給水所にて、市産ミニトマトを提供。 加盟店の中から参加店舗を募り、前日・当日に特別地酒メニュー等を企画。 (前日9店舗、当日5店舗)</li> </ul> <p>前回からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年のランナー増への対応として、新たに会津美里町の会津タムラ製作所とルービイ工業の駐車場を大会駐車場として、約200台分借用しました。</li> <li>荷物預かり所の運営を根本的に見直し、参加者の待ち時間短縮を実現しました。</li> </ul> <p>広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内及び近県の大手スポーツ用品店や大手スポーツジムへ要項を送付しました。</li> <li>ホームページ・フェイスブックを活用し、リアルタイムで大会情報を発信しました。</li> <li>テレビ、新聞、ランニング雑誌への広告掲載を行いました。</li> <li>首都圏等で大会PR大使とともにPRイベントを開催しました。</li> <li>市内小学校の運動会に参加し、PRを実施しました。</li> </ul>					

## 主要な施策の成果（特別会計）

# 会津若松市国民健康保険特別会計

## 2 款 保険給付費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																																							
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																																				
保険給付費 (国保年金課)	8,336,995	2,795,138		2,864,120	2,677,737																																				
説 明																																									
<p>○ 国民健康保険法に基づく医療給付事業（現物給付・現金給付）を行い、被保険者の健康保持を図るとともに、高額療養費の給付により被保険者負担の軽減を図りました。 また、出産育児一時金の給付により妊産婦及び乳幼児の健康増進を図るとともに、葬祭費の給付を行うことで葬祭費用負担の軽減を図りました。</p>																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 30%;">内 訳</th> <th style="width: 30%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者療養給付費</td> <td>現物給付</td> <td>6,931,985 千円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等療養給付費</td> <td>現物給付</td> <td>333,160 千円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者療養費</td> <td>現金給付</td> <td>24,945 千円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等療養費</td> <td>現金給付</td> <td>1,614 千円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者高額療養費</td> <td>現物・現金給付</td> <td>924,390 千円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等高額療養費</td> <td>現物・現金給付</td> <td>53,740 千円</td> </tr> <tr> <td>移送費</td> <td>現金給付</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>出産育児一時金</td> <td>92 件</td> <td>37,337 千円</td> </tr> <tr> <td>葬祭費</td> <td>172 件</td> <td>5,160 千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>24,664 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>8,336,995 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内 訳	金 額	一般被保険者療養給付費	現物給付	6,931,985 千円	退職被保険者等療養給付費	現物給付	333,160 千円	一般被保険者療養費	現金給付	24,945 千円	退職被保険者等療養費	現金給付	1,614 千円	一般被保険者高額療養費	現物・現金給付	924,390 千円	退職被保険者等高額療養費	現物・現金給付	53,740 千円	移送費	現金給付	0 千円	出産育児一時金	92 件	37,337 千円	葬祭費	172 件	5,160 千円	その他		24,664 千円	合 計		8,336,995 千円
事業名	内 訳	金 額																																							
一般被保険者療養給付費	現物給付	6,931,985 千円																																							
退職被保険者等療養給付費	現物給付	333,160 千円																																							
一般被保険者療養費	現金給付	24,945 千円																																							
退職被保険者等療養費	現金給付	1,614 千円																																							
一般被保険者高額療養費	現物・現金給付	924,390 千円																																							
退職被保険者等高額療養費	現物・現金給付	53,740 千円																																							
移送費	現金給付	0 千円																																							
出産育児一時金	92 件	37,337 千円																																							
葬祭費	172 件	5,160 千円																																							
その他		24,664 千円																																							
合 計		8,336,995 千円																																							

## 3 款 後期高齢者支援金等

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源								
後期高齢者支援金等 (国保年金課)	1,577,743	754,012		746,547	77,184								
説 明													
<p>○ 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、後期高齢者医療制度に対して、医療費及び事務費等を拠出しました。</p>													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 60%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後期高齢者支援金</td> <td>1,577,626 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者関係事務費拠出金</td> <td>117 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td>1,577,743 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金 額	後期高齢者支援金	1,577,626 千円	後期高齢者関係事務費拠出金	117 千円	合 計	1,577,743 千円
事業名	金 額												
後期高齢者支援金	1,577,626 千円												
後期高齢者関係事務費拠出金	117 千円												
合 計	1,577,743 千円												

## 6 款 介護納付金

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳							
		国県支出金	地方債	その他	一般財源				
介護納付金 (国保年金課)	682,866	352,288			330,578				
説 明									
○ 介護保険法に基づき、介護納付金を支出しました。									
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護納付金</td> <td>682,866 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金額	介護納付金	682,866 千円
事業名	金額								
介護納付金	682,866 千円								

## 8 款 保健事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																								
保健事業費 (国保年金課)	117,186	45,150			72,036																								
説 明																													
○ 国民健康保険制度の更なる周知を図るため、国民健康保険証や高齢受給者証の更新時にあわせてパンフレットを送付しました。 食を通じた健康づくりの推進を図るため、野菜多め、塩分控えめのメニューを提供する店舗の取組を紹介するチラシを作成し、新聞折込により配布することで、食に関する知識の普及と意識向上を図りました。 また、福島県保健衛生協会及び会津若松医師会に委託し、特定健康診査を実施しました。																													
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内 容</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険制度パンフレット購入</td> <td></td> <td>1,367 千円</td> </tr> <tr> <td>食環境整備事業</td> <td>食育啓発チラシ新聞折込</td> <td>498 千円</td> </tr> <tr> <td>医療費等通知</td> <td></td> <td>4,379 千円</td> </tr> <tr> <td>特定健診等委託 (集団健診)</td> <td>受診者 3,395人</td> <td>33,091 千円</td> </tr> <tr> <td>特定健診等委託 (施設健診)</td> <td>受診者 6,897人</td> <td>60,605 千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>17,246 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td>117,186 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内 容	金 額	国民健康保険制度パンフレット購入		1,367 千円	食環境整備事業	食育啓発チラシ新聞折込	498 千円	医療費等通知		4,379 千円	特定健診等委託 (集団健診)	受診者 3,395人	33,091 千円	特定健診等委託 (施設健診)	受診者 6,897人	60,605 千円	その他		17,246 千円	合 計		117,186 千円
事業名	内 容	金 額																											
国民健康保険制度パンフレット購入		1,367 千円																											
食環境整備事業	食育啓発チラシ新聞折込	498 千円																											
医療費等通知		4,379 千円																											
特定健診等委託 (集団健診)	受診者 3,395人	33,091 千円																											
特定健診等委託 (施設健診)	受診者 6,897人	60,605 千円																											
その他		17,246 千円																											
合 計		117,186 千円																											

# 会津若松市湊町簡易水道事業特別会計

## 1 款 水道事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																																	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																														
簡易水道の維持管理に要する経費 (健康増進課)	4,740		1,200		3,540																														
説 明																																			
○ 健康で快適な生活を送ることができるように、効率的かつ健全な業務運営を行い、生活用水・その他の浄水を供給しました。																																			
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>給水人口</td> <td>232人</td> </tr> <tr> <td>給水件数</td> <td>96件</td> </tr> <tr> <td>有収水量</td> <td>19,510m<sup>3</sup></td> </tr> </table>						給水人口	232人	給水件数	96件	有収水量	19,510m <sup>3</sup>																								
給水人口	232人																																		
給水件数	96件																																		
有収水量	19,510m <sup>3</sup>																																		
営繕費 (健康増進課)	3,820				3,820																														
説 明																																			
○ 安心して飲める水を安定して供給するため、施設の修理を行いました。																																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 150px;">施設修理</td> <td style="width: 100px;">4件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 東田面配水池第1原水槽オーバーフロー管修理工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>56千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 下馬渡配水池配水管漏水修理工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>67千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 東田面地内漏水修理工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>361千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 下馬渡導水管布設替工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3,336千円</td> <td></td> </tr> </table>						施設修理	4件					・ 東田面配水池第1原水槽オーバーフロー管修理工事				56千円		・ 下馬渡配水池配水管漏水修理工事				67千円		・ 東田面地内漏水修理工事				361千円		・ 下馬渡導水管布設替工事				3,336千円	
施設修理	4件																																		
・ 東田面配水池第1原水槽オーバーフロー管修理工事				56千円																															
・ 下馬渡配水池配水管漏水修理工事				67千円																															
・ 東田面地内漏水修理工事				361千円																															
・ 下馬渡導水管布設替工事				3,336千円																															



# 会津若松市観光施設事業特別会計

## 2 款 若松城天守閣費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
若松城天守閣管理運営費 (観光課)	87,277			54,486	32,791
説 明					
<p>○ 天守閣内に展示するための文化財を借用し、謝礼金を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報償費 2,124千円</li> <li>・ 文化財借用件数31件 (101点)</li> </ul> <p>○ 指定管理者である一般財団法人会津若松観光ビューローに対し、若松城の利用促進に係る委託料を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若松城天守閣等利用促進等業務委託料 23,425千円  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;主な事業&gt;</li> <li>・ ホームページ・SNS等を活用してPRの強化を図りました。            平成28年度ホームページアクセス数：312,532件</li> <li>・ 旅行商品造成に向けて、旅行エージェントの訪問活動を実施しました。            訪問先：仙台市、関東全県、東海（名古屋・静岡）、大阪市等            総訪問数：530件</li> <li>・ 誘客推進のため、広告宣伝事業を実施しました。            東武新型特急リバティ会津運行に合わせた東武鉄道首都圏沿線駅へのポスター掲示、            県内新聞の会津関連観光特集版への公告掲載、県内民放局へのスポットCM、            県外新聞への広告及び登閣割引券の刷り込み 等</li> </ul> </li> </ul> <p>○ 若松城内の毀損箇所等を修繕し、安全性や利便性の向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若松城天守閣出口階段改修工事 2,013千円</li> <li>・ 若松城高圧気中開閉器取替工事 692千円</li> <li>・ 鶴ヶ城天守閣欄干塗装工事 486千円</li> <li>・ 鶴ヶ城天守閣夜間照明修繕工事 392千円</li> </ul> <p>○ 戊辰150周年に向けた機運醸成事業としてバーチャルリアリティコンテンツを制作し、鉄門内にて上映する準備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託料 54,432千円</li> <li>・ 上映開始日 平成29年4月1日～</li> </ul>					

### 3 款 若松城整備費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
史跡若松城跡ライトアップ委託経費 (観光課)	14,969				14,969
説 明					
<p>○ 史跡若松城跡ライトアップ業務</p> <p>史跡若松城跡の桜をはじめ、石垣やお濠、廊下橋などを、桜の開花期間に合わせ、節電に配慮したLED照明を使用してライトアップし、夜間の魅力創出による集客増を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間 平成28年4月8日～5月8日</li> <li>・ 委託先 株式会社目黒工業商会</li> <li>・ 委託料 8,969千円</li> <li>・ ライトアップ点灯時間中の鶴ヶ城公園来場者数 26,885人</li> </ul> <p>○ 史跡若松城跡紅葉ライトアップ業務</p> <p>秋の鶴ヶ城公園の魅力向上のため、紅葉期間に公園内のライトアップを実施して夜間の魅力創出に努めるとともに、会津若松観光ルネッサンス協議会のまちなかライトアップ事業と連携してPRを行い、集客増を目指しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間 平成28年10月21日～11月13日</li> <li>・ 委託先 焰光景デザイン</li> <li>・ 委託料 5,999千円</li> <li>・ ライトアップ点灯時間中の鶴ヶ城公園来場者数 4,104人</li> </ul>					

# 会津若松市下水道事業特別会計

## 1 款 下水道事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
建設改良事業費 (下水道課)	1,019,304	380,714	572,500	54,658	11,432

### 説明

- 汚水管整備等を実施することにより、供用区域の拡大に努めました。  
また、浸水被害の軽減を図るため、大町1号雨水幹線の整備を行いました。

#### 1. 整備面積

処理区	今年度	累計	全体	面積
	整備面積	整備面積	計画面積	整備率
会津若松処理区	11.1 h a	1,562.9 h a	2,379.0 h a	65.7 %
北会津北部処理区	0.0 h a	123.0 h a	123.0 h a	100.0 %
河東処理区	2.7 h a	160.7 h a	216.0 h a	74.4 %
合 計	13.8 h a	1,846.6 h a	2,718.0 h a	67.9 %

#### 2. 主な事業

事業内容		事業概要	金額
(汚水)	管理設等工事	Φ150～500mm L=3,923.90m	526,833千円
	その他の工事	公共汚水ます設置等	44,692千円
	設計委託等	下水道管理設工事に伴う実施設計委託等	66,234千円
	北会津北部 浄化センター 建設工事委託	汚泥脱水設備増設 (H28～29)	9,000千円
	補償費	水道管及びガス管移設等補償	29,552千円
(雨水)	管理設等工事	□1000～1100mm×1000mm L=113.10m	137,013千円
	その他の工事	機能補完工事	497千円
	補償費	水道管移転補償	19,825千円
(長寿命化)	下水浄化工場改築 工事等	水処理施設更新 (H28～29)	34,500千円
		受変電・建築電気設備更新 (H28～29)	47,760千円
		汚水ポンプ設備更新 (H28～29)	40,740千円
		その他の改築工事	36,893千円
	設計委託等	下水浄化工場改築にかかる基本設計委託	14,340千円
		管路長寿命化工事に伴う実施設計委託	11,425千円

他に次年度への繰越 202,190千円

# 地方卸売市場事業特別会計

## 1 款 地方卸売市場事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地方卸売市場事業費 (農政課)	94,581			2,052	92,529

### 説明

○ 平成28年4月より、指定管理者として一般社団法人会津若松市公設地方卸売市場協会へ管理運営業務を委託しました。また、公設市場としての機能を維持するため、指定管理者や市場関係者との連携を密にし、活性化プランにおける各種取組の推進に向けた情報交換を行い、公設市場としての維持・発展に努めました。

○ 市場運営の円滑化及び施設設備の長寿命化を目的に改修工事を実施しました。

工事名	金額
公設地方卸売市場シャッター改修工事	11,776千円
公設地方卸売市場冷蔵庫・加工施設扉外改修工事	6,759千円
公設地方卸売市場関連店舗改修工事	498千円
合計	19,033千円

○ 市場運営を通して、市民に対する生鮮食料品などの安定供給を図りました。

平成28年度の卸売に係る取扱実績は下記のとおりです。

[青果部] (単位：t)

区分	野菜	果実	加工	合計
地場	2,851	703	89	3,643
移入	9,735	4,411	593	14,739
小計	12,586	5,114	682	18,382

[水産物部] (単位：t)

区分	鮮魚	太物	塩干	加工	冷凍	冷食	食品	合計
移入	981	137	886	3,106	885	2,225	2,112	10,332

[花き部] (単位：千本・鉢等)

区分	切花	枝物	鉢物	葉物	加工	その他	合計
地場	641	26	16	132	270	11	
移入	2,703	66	132				
小計	3,344	92	148	132	270	11	3,997

[関係業者]

卸売業者	・ 青果部 2社	・ 水産物部 2社	・ 花き部 1社
仲卸業者	・ 青果部 4社	・ 水産物部 3社	
関連事業者	7社		
附属機関	2社		

# 会津若松市扇町土地区画整理事業特別会計

## 1 款 土地区画整理事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
扇町土地区画整理事業費 2 項 土地区画整理事業費 (区画整理課)	339,169	29,400	162,200	109,912	37,657

### 説明

○ 土地区画整理事業の推進により、良好な住環境の整備に努めました。

#### 1. 工事請負費

内 容	事業量	金額
区 画 道 路	206.2m	21,290千円
宅 地 造 成	20,542.1m <sup>2</sup>	24,165千円
そ の 他 の 工 事		27,277千円

#### 2. 委託料

内 容	事業量	金額
測量及び設計業務	6件	51,173千円
物件調査及び補償額算定業務	5件	2,130千円
施設内維持管理	5件	20,372千円

#### 3. 補償補てん及び賠償金

内 容	事業量	金額
物件移転補償等	61件	188,627千円

# 会津若松市農業集落排水事業特別会計

## 1 款 農業集落排水事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
農業集落排水事業費 (下水道課)	17,286		4,100	1,566	11,620

### 説 明

○ 平成27年度をもって整備は完了し、平成28年度は、公共汚水ます等の設置工事を行いました。

#### 1. 主な事業

事業内容	事業概要	金額
公共ます等設置工事	公共汚水ます、公共ますポンプ設置等	4,416千円
その他委託	公共基準点復元測量、汚染土砂運搬処分等	12,759千円

# 会津若松市介護保険特別会計

## 2 款 保険給付費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
保険給付費 (高齢福祉課)	9,948,219	3,971,407		2,800,935	3,175,877
説 明					
○ 介護サービス等諸費 介護保険法に基づき、要介護者に対して介護給付事業を実施し、被保険者の福祉の向上を図りました。 ・ 保険給付額 8,711,800千円					
○ 介護予防サービス等諸費 介護保険法に基づき、要支援者に対する予防給付事業を行い、被保険者の保健医療の向上、福祉の向上を図りました。 ・ 保険給付額 613,308千円					
○ 高額介護サービス等費 高額介護サービス費を給付し、被保険者負担の軽減を図りました。 ・ 保険給付額 187,749千円					
○ 高額医療合算介護サービス等費 介護保険と医療保険の高額負担者に対して、高額医療合算介護サービス費を給付し、被保険者負担の軽減を図りました。 ・ 保険給付額 19,026千円					
○ 諸費 ・ 審査支払手数料 9,580千円					
○ 特定入所者介護サービス等費 施設入所者の居住費と食費の自己負担分に関して、低所得の入居者に対して補足給付を行うことにより負担の軽減を図りました。 ・ 保険給付額 406,756千円					

### 3 款 地域支援事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域支援事業費 (高齢福祉課)	222,526	130,673		11,181	80,672

#### 説 明

#### ○ 介護予防事業費

要介護、要支援状態とならないよう虚弱な高齢者を対象とした介護予防・生活支援サービス事業と、すべての高齢者を対象とした一般介護予防事業を実施し介護予防に取り組みました。

#### ① 介護予防・生活支援サービス事業

平成29年度から実施する介護予防・日常生活支援総合事業のモデル事業として実施し、総合事業の円滑な移行につなげました。

- ・ 緩和型デイサービスモデル事業 参加者 222人
- ・ 短期集中予防サービスモデル事業 参加者 27人
- ・ 理美容サロンサービスモデル事業 参加者 18人

#### ② 一般介護予防事業

- ・ 介護予防教室 431回開催
- ・ 介護予防講座 104回開催
- ・ 地域リハビリテーション活動支援事業 実施団体数 2団体

#### ○ 包括的支援事業・任意事業費

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう、7ヶ所の地域包括支援センターに相談業務や介護予防ケアマネジメント業務等を委託し、福祉や健康の増進を図りました。また、地域で安心した生活が継続できるよう様々な事業を実施しました。

- ・ 地域包括支援センター事業 のべ相談件数 46,557件
- ・ 寝たきり高齢者等紙おむつ等給付事業 給付者 952人
- ・ 高齢者福祉相談員事業 訪問対象世帯 2,768世帯
- ・ 訪問給食サービス事業 食数 33,642食
- ・ 認知症サポーター養成講座 参加者 1,888人
- ・ 認知症外出見守りシステム事業 利用者 25人

# 個別生活排水事業特別会計

## 1 款 個別生活排水事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
個別生活排水事業費 (下水道課)	114,683	26,431	78,700	7,062	2,490

### 説明

- 浄化槽による生活排水処理を推進する地域において、計画的な整備を図るため、市が設置主体となり浄化槽の整備を行いました。

#### ・主な事業

事業内容	事業概要	金額
浄化槽設置工事	43基 (内訳) 5人槽 8基 7人槽 33基 10人槽 1基 40人槽 1基	108,494 千円

# 三本松地区宅地整備事業特別会計

## 1 款 宅地整備事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
三本松宅地整備事業費 (都市計画課)	523				523

### 説 明

- 北会津地域の均衡ある発展と地元経済の活性化のための住宅地分譲事業であり、平成20年度において完売した分譲地の維持管理等を行い、良好な宅地環境の向上に努めました。

・ 委託料

内 容	事 業 量	金 額
除草業務委託	2件	224千円
水質検査業務委託	2件	279千円

# 会津若松市後期高齢者医療特別会計

## 2 款 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
後期高齢者医療広域連合納付金 (国保年金課)	1,186,522				1,186,522

### 説 明

- 福島県後期高齢者医療広域連合により運営されている後期高齢者医療制度の円滑な受診環境整備のため、広域連合に対し、保険基盤安定負担金及び保険料を納めました。

事業名	金額
後期高齢者医療保険基盤安定負担金	309,693 千円
後期高齢者医療保険料等負担金	876,829 千円
合 計	1,186,522 千円

# 平成28年度 基金運用状況報告書

平成28年度の基金の運用状況について、地方自治法第241条第5項の規定により提出する。

平成29年9月7日

会津若松市長 室井照平

# 平成 28 年 度 会津若松市板橋好雄奨学資金貸与基金運用状況

この基金は、地方自治法第241条第1項の規定に基づき、板橋好雄氏からの寄付金を奨学金に充てることを目的として設置したものでありますが、平成28年度の運用状況は次のとおりです。

## ○板橋好雄奨学資金貸与基金

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,534,871 円	△ 522,027 円	5,012,844 円
貸 付 金	6,350,000 円	523,000 円	6,873,000 円
そ の 他	0 円	0 円	0 円

## ○第1表

年 度	基 金 積 立 状 況		前期末基金 現金残高	基 金 貸 付 返 還 状 況				貸付返還後の 基金現金残高	貸 付 金 現 在 高
	年 月 日	基 金 総 額		貸 付		返 還			
				件数	金 額	件数	金 額		
21	22.3.31 現 在	円 11,870,195	円 9,704,897	件 0	円 0	件 22	円 870,000	円 10,585,195	円 1,285,000
22	23.3.31 現 在	円 11,875,033	円 10,585,195	件 4	円 2,000,000	件 20	円 255,000	円 8,845,033	円 3,030,000
23	24.3.31 現 在	円 11,877,750	円 8,845,033	件 2	円 1,000,000	件 19	円 170,000	円 8,017,750	円 3,860,000
24	25.3.31 現 在	円 11,879,767	円 8,017,750	件 2	円 1,000,000	件 16	円 195,000	円 7,214,767	円 4,665,000
25	26.3.31 現 在	円 11,881,599	円 7,214,767	件 2	円 1,000,000	件 26	円 232,000	円 6,448,599	円 5,433,000
26	27.3.31 現 在	円 11,883,285	円 6,448,599	件 2	円 1,000,000	件 23	円 737,000	円 6,187,285	円 5,696,000
27	28.3.31 現 在	円 11,884,871	円 6,187,285	件 2	円 1,000,000	件 37	円 346,000	円 5,534,871	円 6,350,000
28	29.3.31 現 在	円 11,885,844	円 5,534,871	件 2	円 1,000,000	件 53	円 477,000	円 5,012,844	円 6,873,000

○第2表

年月日	基金管理状況					備考
	現金	銀行預金	貸付金	その他	現金運用	
28.4.1	円 0	円 5,534,871	円 6,350,000	円 0	円 0	基金総額 11,884,871円
28年4月	0	5,551,871	6,333,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 3件 17,000円
28年5月	0	5,594,871	6,290,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 4件 43,000円
28年6月	0	5,613,871	6,271,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 3件 19,000円
28年7月	0	5,647,871	6,237,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 5件 34,000円
28年8月	0	5,667,874	6,217,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 3件 20,000円 普通預金預け入れ 利子分 3円
28年9月	0	5,697,567	6,188,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 4件 29,000円 定期預金預け入れ 利子分 693円
28年10月	0	5,732,567	6,153,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 4件 35,000円
28年11月	0	5,769,567	6,116,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 5件 37,000円
28年12月	0	5,816,567	6,069,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 6件 47,000円
29年1月	0	5,873,567	6,012,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 6件 57,000円
29年2月	0	5,980,568	5,905,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 6件 107,000円 普通預金預け入れ 利子分 1円
29年3月	0	5,012,844	6,873,000	0	0	貸付 2件 1,000,000円 返還 4件 32,000円 定期預金預け入れ 利子分 276円
29.3.31	0	5,012,844	6,873,000	0	0	29年3月末板橋好雄奨学資金貸与基金 現在高 11,885,844円